

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	看護研究Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	3年教室
担 当 教 員	田中 小百合	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
論文作成から成果発表までの一連の過程を通して、看護研究を行うための基礎的能力を養う。具体的にはこれまでに修得した基礎的・臨床的知識をもとに科学的根拠に基づいた研究テーマを検討する。その上でグループで検討テーマに沿って現象の実態を明らかにすることで研究的な学習の進め方を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
別紙評価表あり						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
看護研究(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
研究論文をリサーチすること 論文作成、発表のため計画的に準備・作成をしていくこと						
《履修に当たっての留意点》						
計画的に研究を進められるようにグループで協力し主体的に参加すること。また担当教員と調整を行い、研究を積極的に行うこと。決められた提出期限の厳守すること						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	研究テーマを検討することができる	PC、テキスト、資料		テーマにしたい論文を 読んでおくこと
		各コマに おける 授業予定	看護研究について(看護研究の意義・テーマ検討・研究計画書)			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	研究テーマを検討することができる	PC、テキスト、資料		テーマに応じた論文を 読んで共有しておくこと
		各コマに おける 授業予定	看護研究の方法(研究テーマの検討・絞り込み)			
第3回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	グループで計画書を作成することができる	PC、テキスト、資料		計画書の書き方を復習 しておくこと
		各コマに おける 授業予定	文献検索 研究計画書作成			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	代表的な統計分析を理解することができる	PC		指定したテキストを事前 に読んでおくこと
		各コマに おける 授業予定	統計の基本(エクセルでできるデータの分析) BSC			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	代表的な統計分析を入力分析することができる	PC		指定したテキストを事前 に読んでおくこと
		各コマに おける 授業予定	統計の基本(エクセルでできるデータの分析) BSC			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究の倫理的配慮について述べることができ、質問紙を作成することができる	PC、テキスト、資料	指定したテキストを事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	研究の進め方(質問紙作成、倫理的配慮、データの取り扱いと図・表)		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成の進め方を述べるができる	PC、テキスト、資料	指定したテキストを事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	研究の進め方(論文作成、抄録、発表方法)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成を計画的に進めることができる	PC、テキスト、資料	論文作成の計画に基づき進めておく
		各コマにおける授業予定	グループ活動: データ収集、論文作成		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成を計画的に進めることができる	PC、テキスト、資料	論文作成の計画に基づき進めておく
		各コマにおける授業予定	グループ活動: データ収集、論文作成		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成を計画的に進めることができる	PC、テキスト、資料	論文作成の計画に基づき進めておく
		各コマにおける授業予定	グループ活動: データ収集、論文作成		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成を計画的に進めることができる	PC、テキスト、資料	論文作成の計画に基づき進めておく
		各コマにおける授業予定	グループ活動: データ収集、論文作成		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	発表資料の作り方を説明することができる	PC、テキスト、資料	論文作成の計画に基づき進めておく
		各コマにおける授業予定	発表資料の作り方(PPT作成のコツ)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	発表資料の作成を計画的に進めることができる	PC、テキスト、資料	発表資料作成の計画に基づき進めておく
		各コマにおける授業予定	論文仕上げ・発表準備・発表会資料作成		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	発表資料の作成を計画的に進めることができる	PC、テキスト、資料	発表資料作成の計画に基づき進めておく
		各コマにおける授業予定	論文仕上げ・発表準備・発表会資料作成		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究発表をクラスで運営し、グループで発表し、意見や感想を述べるができる	PC、資料	発表練習、発表会運営がスムーズにできるよう各担当役割の準備
		各コマにおける授業予定	研究発表会		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	医療安全		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	竹内千恵 ・七瀬光美	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
医療安全における看護の責務・役割及び事故分析の方法を理解する。看護・医療における「安全」を理解し、日常の看護・医療の場で発生しやすい事故について認識を深め、事故防止の考え方や知識を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、ミニレポート並びに演習参加態度、筆記試験で総合的に評価。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
医療安全 患者の安全を守る看護の基礎力、臨床力 学研						
《授業外における学習方法》						
講義前に事前課題を提出する。また、講義後は小テスト、レポートの提出を行い、授業内容の予習・復習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
医療安全に関する新聞記事やニュースに関心を持ち、過去の事例を調べておく						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療安全を学ぶことの重要性・医療安全の考え方の変化について説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	医療安全を学ぶ意義 医療安全に関わる動向 医療安全の対象 医療安全に関わる基礎知識			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護職の法的規定と医療安全を学び説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	看護倫理と医療安全 看護師の法的規定 看護業務の変遷と安全管理			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療安全への取り組みを学び説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	匡の医療安全への取り組み 看護職能団体の取り組み 医療の質の評価			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヒューマンエラーのメカニズムを、人間の基本特性とエラーを誘発しやすい環境との関係で説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	ヒューマンエラーとは 人間特性 エラーを誘発しやすい環境			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	事故分析の考え方と具体的な方法について説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う	
		各コマにおける授業予定	事故の構造 事故分析に重要なこと 具体的な分析手法の特徴			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	インシデント報告の意味と必要性を説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	リスク低減の考えかた エラーブーフ リスクマネジメント		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療安全管理者・TQMについて学び説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	医療安全管理者の配置とその意義・業務内容 TQM		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護業務を行う際の特性とリスク事故分析方法を説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	看護業務の特徴的な環境とリスク 原因と結果分析の重要性 事故分析方法 医療事故の種類		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療事故の要因と予防策を説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	誤薬・輸血事故		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療事故の要因と予防策を説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	患者取り違え		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療事故の要因と予防策を説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	転倒・転落		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療事故の要因と予防策を説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	針刺し 誤嚥		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	医療事故の要因と予防策を説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	皮膚障害 異物遺残		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療事故の要因と予防策を説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	医療機器のトラブル チューブ類のトラブル		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療従事者の安全を脅かすリスクと対策、医療事故後の対応について学び説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	感染の危険を伴う病全体への曝露 感染に対する標準予防策と感染経路別予防策 医療機器の使用に関わるもの 医療事故後の対応		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	看護管理	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	小坂 寿江	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

看護の対象となる人々に最も良質で効果的な看護を提供するための「しくみ」について学習する。そのための看護部門・看護単位の運営、安全管理など質の高い看護実践を可能にするための「しくみ」を構築する基礎的知識を学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

小テスト、レポート並びに演習参加態度、筆記試験で総合的に評価。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座 統合 看護管理 看護の統合と実践① 医学書院

《授業外における学習方法》

講義前に事前課題を提出する。また、講義後は小テスト、レポートの提出を行い、授業内容の予習・復習をする。

《履修に当たっての留意点》

過去の学習に関連付け医療におけるしくみを理解すること、その中での自己の役割と社会的責任を確認する。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	看護管理とは・組織とはを理解し説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
	各コマにおける授業予定	看護管理とは 看護管理の基盤となる知識 組織の理解		
第2回	授業を通じての到達目標	看護におけるマネジメントを学び説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
	各コマにおける授業予定	マネジメントとは マネジメントの考え方の変遷 看護におけるマネジメント		
第3回	授業を通じての到達目標	看護倫理について説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
	各コマにおける授業予定	看護者の倫理綱領 看護実践倫理 経営倫理 倫理的葛藤		
第4回	授業を通じての到達目標	看護ケアのマネジメントとしてのチーム医療について学び説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
	各コマにおける授業予定	チーム医療の定義 チーム医療に必要な機能 多職種連携と協働		
第5回	授業を通じての到達目標	看護ケアのマネジメントとしての日常業務のマネジメントについて学び説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
	各コマにおける授業予定	看護業務の定義・日常業務のマネジメント 看護基準と看護手順 クリニカルパス 情報の活用		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護職のキャリアマネジメントについて学び、その必要性を説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	キャリアとキャリア形成 看護職のキャリア形成		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	マネージメントに必要な知識・技術を理解し説明できる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	組織のマネジメント リーダーシップ・組織の調整 タイムマネジメントとストレスマネージメント		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定	終講試験		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	災害看護・国際看護	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	AMDA(菅波 茂)他	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

災害看護では、東北地方の大震災、風水害、列車事故など様々な災害により、災害教育・訓練の必要性を理解する。災害という異常事態の中で、国内外での救援体制やそれぞれの機関が行う救援活動の全体像から災害看護の役割を理解する。災害急性期の看護活動に必要な判断力、基本的な救援活動、心構えと態度、行動力について総合的に理解し、更に避難所における健康問題や倫理問題、こころのケア高齢者への看護などを学ぶ。自衛隊日本原駐屯地、美作消防署の施設見学の実施。

国際看護では世界の健康問題と看護の現状と課題をふまえ、看護の国際協力の活動内容の実際を知り、諸外国で展開される、看護実践や国際的な支援活動について学び、国際的視野を広げる。アメリカ研修の実施。

《成績評価の方法と基準》

小テスト、ミニレポート並びに演習参加態度、筆記試験で総合的に評価。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座 統合 災害看護学・国際看護学 医学書院

《授業外における学習方法》

講義前に事前課題を提出する。また、講義後は小テスト、ミニレポートの提出を行い、授業内容の予習・復習をする。

《履修に当たっての留意点》

国内外の災害や国際状況を知り、看護を深めることができるよう、日ごろよりニュースや新聞などに関心を持ちましょう。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	海外研修にてカレッジでの研修、講義、シュミレーション実習に積極的に質疑応答ができる。	配布資料	講義テーマについての事前学習
	各コマにおける授業予定	カレッジでの研修、講義、シュミレーション実習		
第2回	授業を通じての到達目標	海外研修にてカレッジでの研修、講義、シュミレーション実習に積極的に質疑応答ができる。	配布資料	講義テーマについての事前学習
	各コマにおける授業予定	カレッジでの研修、講義、シュミレーション実習		
第3回	授業を通じての到達目標	施設見学で積極的に質疑応答ができる。	配布資料	講義テーマについての事前学習
	各コマにおける授業予定	施設見学(老人福祉施設・病院など)		
第4回	授業を通じての到達目標	学術発表・文化交流を通じ、積極的に交流をはかり意見を述べることができる。	配布資料	講義テーマについての事前学習
	各コマにおける授業予定	学術発表・文化交流		
第5回	授業を通じての到達目標	国際看護、世界の健康問題を学び説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
	各コマにおける授業予定	国際看護学とは 保健医療分野の開発理念の変遷 世界の健康問題の現状		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際協力について学び説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	国際協力のしくみ 国際救援・保健医療協力分野で活躍する国際機関 国際救援の調整		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	多様な文化を理解、尊重し看護する重要性を説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	多様な文化(文化を考慮した)看護 開発協力と看護 開発途上国と看護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際的な災害救援および復興支援にかかるガイドラインを理解し、支援の実際を説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	国際的な災害救援および復興支援にかかるガイドライン 国際的な災害支援および復興支援の実際 国際救援の課題		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際の災害支援・復興支援を学び国際救援の課題を説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	国際的な災害支援および復興支援の実際 国際救援の課題		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際の災害支援・復興支援を学び国際救援の課題を説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	国際的な災害支援および復興支援の実際 国際救援の課題		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	施設見学・講義内容を積極的に学び、質疑応答ができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	自衛隊見学(日本原駐屯地) 国の防衛・災害派遣・国際貢献について		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	施設見学・講義での学びをレポートにまとめることができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	自衛隊見学(日本原駐屯地) 国内の救援活動の現状と課題		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域防災の実際を学び、説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	美作消防署・救急車の見学 地域防災・自助と共助の重要性 トリアージ・応急処置について 救急車の要請状況と課題		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	講義内容を理解し災害看護について説明できる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	災害看護学における倫理・教育・研究 まとめ		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	講義内容を理解し国際看護について説明できる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	国際看護学における倫理・教育・研究 まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	看護の統合と実践	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生	学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	水谷 圭	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

専門職業人として質の高い医療を提供するために生涯にわたり自らの職業能力を高められるように主体的学習を継続できる能力を養う。卒業時到達技術目標に向かい技術のトレーニングを行い、OSCEの演習等で目標達成を目指す。

《成績評価の方法と基準》

小テスト、レポート並びに演習参加態度、筆記試験で総合的に評価。(ケーススタディ20%、シミュレーション演習10%、まとめ試験70%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座 統合 看護管理 看護の統合と実践① 医学書院

《授業外における学習方法》

講義前に事前課題を提出する。また、講義後は小テスト、レポートの提出を行い、授業内容の予習・復習をする。

《履修に当たっての留意点》

看護師国家試験の傾向と対策をおこなう。また、援助技術を復習し多重課題に臨む。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	臨地実習での受け持ち事例の看護を振り返り、まとめることができる	配布資料 テキスト	資料、テキストを読み事例をまとめていく
	各コマにおける授業予定	ケーススタディ学習		
第2回	授業を通じての到達目標	多重課題の臨床的判断の構築がわかるようになる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
	各コマにおける授業予定	シミュレーション(複数受け持ち事例)		
第3回	授業を通じての到達目標	多重課題の臨床的判断の構築がわかるようになる	配布資料 テキスト	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
	各コマにおける授業予定	シミュレーション(複数受け持ち事例)		
第4回	授業を通じての到達目標	単元履修の評価基準に達することができる	配布資料 テキスト	予習・復習を行う
	各コマにおける授業予定	まとめ試験1		
第5回	授業を通じての到達目標	単元履修の評価基準に達することができる	配布資料 テキスト 看護師国家試験 問題集	予習・復習を行う
	各コマにおける授業予定	まとめ試験1		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	単元履修の評価基準に達することができる	配布資料 テキスト 看護師国家試験 問題集	予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	まとめ試験1		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	単元履修の評価基準に達することができる	配布資料 テキスト 看護師国家試験 問題集	予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	まとめ試験2		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	単元履修の評価基準に達することができる	配布資料 テキスト 看護師国家試験 問題集	予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	まとめ試験2		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	単元履修の評価基準に達することができる	配布資料 テキスト 看護師国家試験 問題集	予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	まとめ試験2		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	単元履修の評価基準に達することができる	配布資料 テキスト 看護師国家試験 問題集	予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	まとめ試験3-①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	単元履修の評価基準に達することができる	配布資料 テキスト 看護師国家試験 問題集	予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	まとめ試験3-①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	単元履修の評価基準に達することができる	配布資料 テキスト 看護師国家試験 問題集	予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	まとめ試験3-②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	単元履修の評価基準に達することができる	配布資料 テキスト 看護師国家試験 問題集	予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	まとめ試験3-②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	単元履修の評価基準に達することができる	配布資料 テキスト 看護師国家試験 問題集	予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	まとめ試験3-③		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	単元履修の評価基準に達することができる	配布資料 テキスト 看護師国家試験 問題集	予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	まとめ試験3-③		